

背割堤さくらまつり実行委員会・淀川河川公園背割堤地区（京都府八幡市）
**平成30年9月の台風21号により倒れた背割堤桜を使った
「さくらベンチ」が完成しました。**
**令和元年9月6日（金）、「さくらベンチ」を
さくらであい館館内に設置しました。**

近畿地方の桜の名所とされ、春には多くの来場者様にお楽しみいただいている淀川河川公園背割堤地区の桜並木。約240本が立ち並び、満開時には代名詞となる「桜のトンネル」をお楽しみいただいていた桜並木でしたが、平成30年9月に襲来した台風21号により、約20本の倒木を含む、全体の約90%が倒木や枝折れ等の被害に遭いました。

倒れて花を咲かせることが出来なくなった桜の木の姿を皆様の心に留めていただきたく、皆様に永くご愛用いただけるようにと「さくらベンチ」を製作し、さくらであい館館内に設置の運びとなりました。

このベンチを製作するにあたり、園路内に倒れた桜の除去作業に始まり、その中から選定された桜の大枝を半年の間乾燥させて加工したりと、多くの労力と時間が費やされ、無事完成となりました。

この「さくらベンチ」は、桜の木ならではのどっしりとした安定感と、ぬくもりあふれる質感に仕上がっております。ぜひ、多くの来館者様に実際に腰掛けていただき、淀川三川合流域にある背割堤桜の歴史などに思いを馳せていただければ幸いです。

なお、この「さくらベンチ」を製作するにあたり、「背割堤さくら保護・育成基金」を用いました。皆様の、背割堤桜へのご支援に深く感謝いたしております。

背割堤さくらまつり実行委員会、並びに淀川河川公園では、背割堤桜の保護・育成活動等を通じて、ご来場者様へのより快適な利用環境の提供を目指し、今後も様々な取り組みを行ってまいります。

■淀川河川公園さくらであい館 館内設置「さくらベンチ」概要

- ・場 所：京都府八幡市八幡在応寺 京阪電車「八幡市駅」徒歩約10分
(令和元年10月1日より「石清水八幡宮駅」に名称変更)
- ・仕 様：背割堤桜（ソメイヨシノ）使用・幅1700mm×奥行き700mm×高さ400mm
- ・設 置 日：令和元年09月06日（金）

■被害を受けた桜並木（平成30年9月）

■半年間乾燥させた大枝の加工

■さくらであい館館内に設置の様子


貴社におかれましては、日頃より淀川河川公園の広報にご協力いただき、誠にありがとうございます。

淀川河川公園さくらであい館館内において、平成30年9月の台風21号により倒れた背割堤桜を使った「さくらベンチ」が設置されました。

ご多忙中のこととは存じますが、取材ならびに記事掲載のほどよろしくお願い申し上げます。

■配布先：京都府政記者会、京都市政記者クラブ、枚方市政記者クラブ、関西レジャー記者クラブ
FM-ひらかた、枚方つーしん

淀川河川公園に関する取材申し込み・お問い合わせ	
記者問い合わせ	一般問い合わせ
背割堤サービスセンター <small>たかはし いしずみ</small> TEL:075-633-5120 FAX:075-950-2953	背割堤サービスセンター TEL:075-633-5120 公園ホームページ https://www.yodogawa-park.go.jp/ 公園フェイスブック https://www.facebook.com/yodogawariversidepark/